

# 米国マーケットの最前線

-経済動向から日本への影響まで-



2017/02/06

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

マネックス証券株式会社  
www.monex.co.jp

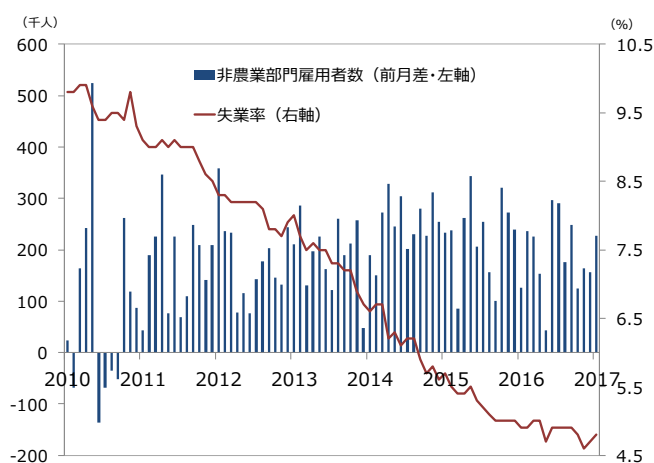
## 雇用統計結果報告

経済指標名	時期	実績	市場予想	前月
非農業部門雇用者数（前月差）	1月	+22.7万人	+18.0万人	+15.7万人
失業率	1月	4.8%	4.7%	4.7%
平均時給（前年比）	1月	+2.5%	+2.7%	+2.8%
労働参加率	1月	62.9%	-	62.7%
U-6失業率	1月	9.4%	-	9.2%
失業者における長期失業者の割合	1月	24.4%	-	24.2%

### ■非農業部門雇用者数は大きく上振れもその他はまずまずといった内容

3日に1月分の米雇用統計が発表された。非農業部門雇用者数は市場予想(18万人増)を大きく上回り前月から22.7万人増加した。過去分は12月分が15.6万人増から15.7万人増に上方修正、11月分は20.4万人増から16.4万人増に下方修正され、トータルで3.9万人の下方修正となった(グラフ参照)。また、失業率は前月の4.7%から4.8%に上昇(悪化)した。ただ、失業率の悪化は労働参加率の上昇(62.7%→62.9%)を伴うもので大きな問題はないとみられる。

非農業部門雇用者数と失業率

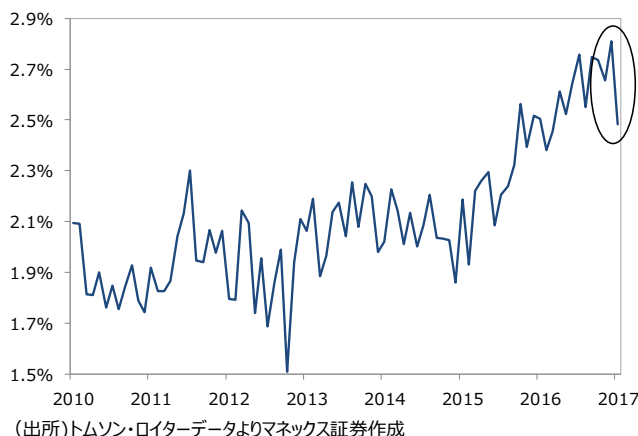


(出所)トムソン・ロイターデータよりマネックス証券作成

上述したように非農業部門雇用者数は予想を上回る好内容だったが、その他の各指標は「まずまず」といった内容で労働市場の改善ペースの加速を示唆する内容ではなかった。将来のインフレ圧力となるため大き

な注目を集めていた労働者の平均時給は前年比2.5%の上昇と市場予想の2.7%を下回って前月から伸びが鈍化した(グラフ参照)。2.5%の上昇というのは悪い水準ではないが、足元の数ヶ月間で賃金の伸びがじりじりと拡大していただけにやや期待はずれと言える。

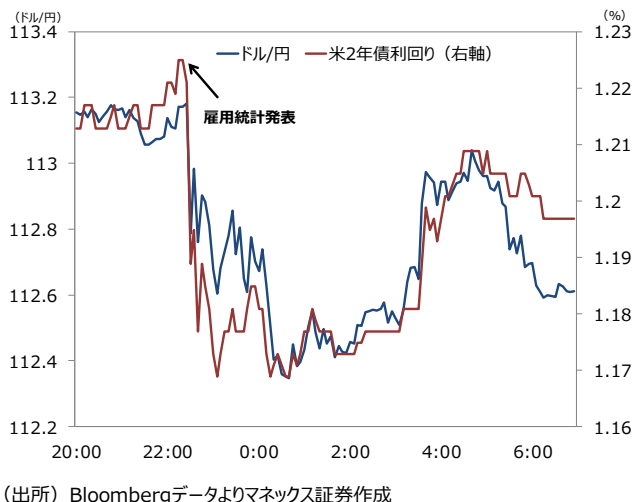
米国平均時給（前年同月比）の推移



本来は正社員を希望しているがやむを得ずパートタイマーとして働く人を失業者にカウントしたU-6失業率や失業者に占める長期失業者の割合のいずれも前月からわずかに悪化しており、このあたりの指標を見ても労働市場はこれまで同様緩やかな回復を続けているという印象で、急改善と言う状況にはない。

マーケットもやや失望といった反応を示した。雇用統計発表後に米2年債利回りは低下し、ドル円は円高ドル安に振れた。その後ドル円、金利とも値を戻したものの結局雇用統計の発表前より下落して取引を終えた(グラフ参照)。

雇用統計前後のドル円・米2年差利回りの推移



総合的に判断すると1月分の雇用統計は決して悪い内容ではないが、一方でFRBに利上げペースの加速を促すような好内容ではなかったと言えそうだ。前回のレポートでも記したように、現時点では3月の連邦公開市場委員会(FOMC)での利上げは見送られる公算が高いと考えている。

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会